

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月2日

和泉市長 あて

団体名 松尾連合地車連絡協議会

代表者名 松本 保吏

所在地 和泉市観音寺 571-1-2-F

電話番号 090-8983-9061

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	松尾連合地車祭継承事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,206,000 円 (うち、対象経費 1,916,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	マツオレンゴウジグルマレンラクキョウギカイ		
団体名	松尾連合地車連絡協議会		
団体の目的	南北松尾地区地車関係団体7町の交流、同地区の活性化に寄与するため、合同の地車祭の式典、パレードを通じて多くの人に祭礼への理解・参加を募るととともに、見物客の安全を確保し、祭礼の伝統を保存・継承する。		
市内事務所の所在地	〒594-0065 和泉市観音寺町 571-1-2-F		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
電話	090（8983）9061	F A X	（ ）
フリガナ	マツモト ヤスシ		
代表者氏名	松本 保吏		
連絡先 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	（連絡責任者氏名）※	電 話	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	平成7年 4月	主な活動地域	和泉市南北松尾地区
会報等の発行	有（4回発行） ・ 無	会員数	1,500人
メールアドレス	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■		
ホームページ	http://		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・PR用ポスターの企画・製作・会報の発行 ・各町清掃及びPR活動と式典・曳行連合パレード実施 ・11月末に献血活動を実施 		
主な活動の実績	南北松尾地域一体となった祭りを実施することで、各町間の交流が深まり、祭礼への参加者も増加、地域の活性化に寄与するとともに、地車祭が深く定着し、“地域だんじり祭り”が、年々、多くの人に地域の伝統の文化として理解して頂けるようになってきている。		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績（過去3年間の実績を記載）	年度	名称	金額（円）

事業計画書

1 事業名	松尾連合地車祭継承事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 昨今、少子高齢化が急速に進むなか、地域住民の繋がりが希薄化されつつある社会情勢において 祭礼を通じて人と人との繋がりを強固なものにし、地域を活性化させ、後世へ継承することで、地域住民同士のコミュニケーションを高め、同じ地域に暮らす住民同士の日常生活の質の向上にも寄与すると思料する。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 同じ地域に暮らす小さな子供達からお年寄りの方々までが、祭礼を通じ、一堂に会することで、人と人との繋がりを深め、地域の実情を相互に認識しあうことで、急速に進んでいる少子高齢化や犯罪の防止等の地域が抱える課題解決に向けた一助につながっている。また、清掃活動を通じて、日々、何気なく使用している生活道路の改善すべき箇所等、地域の生活道路の状況を地域住民同士で認識し、より良い街づくりや更なる生活道路の安全確保の構築、また、市民の祭礼に対する理解を得ることを目標としている。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 日々の生活において使用している生活道路の清掃活動に際しては、清掃箇所を分担し、本協議会だけでなく、近隣地域住民が地域道路の実情を認識するとともに、情報共有し道路状況の把握を行う。 祭礼時の安全対策においては、警備員を重点箇所に配置し、徹底した取り組みを行う。 仮設トイレの設置においては、毎年必要箇所の見直しを行うなど、祭礼全体をより良いものにし、後世においても継承していく。</p>	
③ 実施期間（日時）	令和8年4月～令和9年3月
④ 実施場所	北松尾地区及び南松尾地区
⑤ 主な対象者	地域住民
⑥ 参加予定者数	2,000人
⑦ 告知方法	ポスターによる広報活動 商業施設等において鳴り物披露

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
4月～8月	定例会議（毎月）の開催 各町代表者出席 30～40名
8月	クリーンキャンペーン（清掃活動） ポスター兼カレンダー掲示・配布活動
9月	商業施設等において、鳴り物披露
10月	祭礼準備等 祭礼曳行
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	小さな子供からお年寄りの方々までが、一堂に会している地域挙げての祭礼であり、殆どの祭礼関係者がそれぞれの役割を担っており、士気向上を共有することで、少子高齢化が急速に進むなか人と人の繋がりをより深めるとともに、地域住民にとって有益性を成し得ている。
② 継続性	祭礼を通じて地域を活性化させることにより、特に若者同士の祭礼参加者を増加させている。また伝統行事を実施することで、地域住民の更なるコミュニケーションの構築、犯罪防止に繋がっており、後世においても継承していく必要がある。
③ 実行性	祭礼を通じて、人と人との繋がりをより強固にし、礼儀作法を学び、祭礼を支え合う中で地域を活性化させ、後世へ継承することで、地域住民同士のコミュニティを高め、同じ地域に暮らす住民同士の日常生活の質の向上にも寄与すると思慮する。
④ 協働性	祭礼の開催に向けて、地域店舗住民が一丸となり、人と人の繋がりを深め、地域の活性化、幅広い世代間のコミュニケーションを密にし、協働し合うことで、犯罪防止に寄与している。
⑤ 公開性	本事情は、各町掲示板及びSNS等での啓発活動やポスターによるPR活動及び会報による各町のイベント等の近況報告を行っている。
⑥ 発展性 （先駆性・展開性） （集客性）	年々、祭礼の観客数が増加傾向にあり、本事業が盛大に開催されている。また、地域づくりと人づくりにも大きく寄与しており、地域活性化の更なる起爆剤として、今後においても祭礼の伝統を保存、継承していく必要がある。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 松尾連合地車祭継承事業

1. 【収入】 (単位：円) 項目	金額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	735,000	年会費（80,000円×7町）560,000円 運営協力金（25,000円×7町）175,000円
	671,000	団体会計
合計	2,206,000	

2. 【支出】 (単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	90,000	参加賞 うちわ 300円×300本 エコール・いずみにて配布
消耗品	320,000	紙、プリンターインク代 20,000円 交通うちわ 3,000円×100本
食糧費	70,000	清掃活動時の飲食代（200円×350人）
印刷製本費	238,000	周知用ポスターカレンダー作成 340円×700部 238,000円
役務費	30,000	法被クリーニング代
委託料	800,000	警備員（警備業者） 延べ25名×30,000円 750,000円 パレード式典舞台設営 50,000円
使用料及び貸借料	368,000	本部椅子（40）、テーブル（8） レンタル料 50,000円 仮設トイレ貸借料・汲み取り料 20,000円×10箇所 200,000円 高所作業レンタル料 50,000円 無線機レンタル料（送料込み） 4,000円×17台 68,000円
消耗品（対象外）	30,000	御礼用タオル 30,000円
食糧費（対象外）	60,000	定例会議用飲料代
使用料及び貸借料 （対象外）	200,000	備品倉庫借り上げ
合計	2,206,000	
対象経費	1,916,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。